

インフルエンザウイルスキット

イムノファイン™ FLU II

【操作方法】テストプレートおよび抽出液入りスクイズチューブは15~30℃に戻してからご使用ください。

○ 検体の調製方法

シールをはがします。



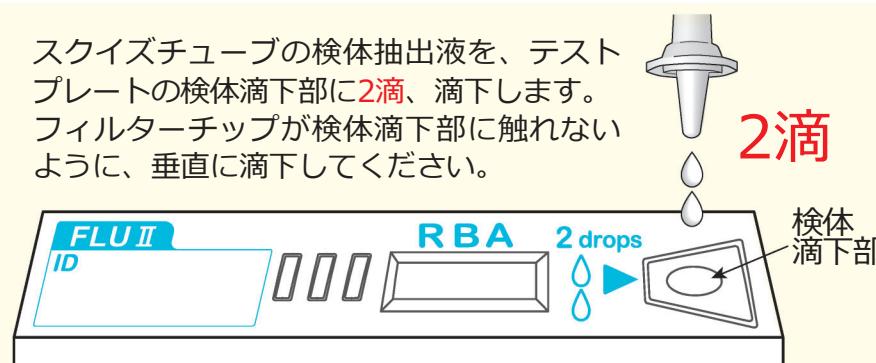
検体を採取した綿棒の綿球部を速やかに抽出液に浸し、スクイズチューブを押さえ、**綿球部をはさみ付けるように10回以上回転させます。**



キット付属のフィルターチップを、スクイズチューブにしっかりと取り付けます。

○ 測定法

スクイズチューブの検体抽出液を、テストプレートの検体滴下部に**2滴**、滴下します。
フィルターチップが検体滴下部に触れないように、垂直に滴下してください。



※判定部 A、B、R のラインの出現の有無を目視にて確認してください。
詳細は、電子添文内の「測定結果の判定法」を参照してください。

○ 判定

~5分

陽性判定

RBA

A型陽性

RBA

B型陽性

5分

陰性判定

RBA

陰性

再検査

RBA

RBA

RBA

(1) 判定部 A あるいは判定部 B、または両方に紫色のラインなど**指定色以外のライン**が認められる場合。



(2) 検体抽出液を滴下してから 5 分以内に判定部 R にラインが認められない場合。

【検体採取方法】

鼻咽頭ぬぐい液



滅菌綿棒(鼻腔用・鼻咽頭用)を外鼻孔から鼻腔内にしっかりと挿入し、鼻甲介を数回擦るようにして粘膜表皮を採取します。
軸に力をかけて強く擦ったり、無理に回転させたりしないでください。
滅菌綿棒の先を鼻腔に無理にこすりつける必要はありません。

鼻腔ぬぐい液



滅菌綿棒(鼻腔用・鼻咽頭用)を鼻腔に沿って2cm程度挿入し、ゆっくり5回程度回転させ5秒程度静置します。
患者自身が採取する場合は、鼻出血が起こりやすい部位である点にも配慮し、医療従事者の管理下で実施してください。

鼻腔吸引液



吸引トラップの一方のチューブを吸引ポンプにつなぎ、他方のチューブを鼻腔内にしっかりと挿入します。
吸引ポンプを作動させ、鼻腔液を吸引トラップに採取します。
採取された鼻腔液の粘度が高い部分や固形成分を避けて、滅菌綿棒(鼻腔用・鼻咽頭用)を浸します。

鼻汁鼻かみ液



鼻かみシートもしくは検体採取用シートを用い、患者に鼻をかんでもらいます。
採取された鼻汁鼻かみ液の粘度が高い部分や固形成分を避けて、滅菌綿棒(鼻腔用・鼻咽頭用)を浸します。

咽頭ぬぐい液



咽頭後部、扁桃、その他炎症部分を、咽頭用綿棒で擦って咽頭粘液を採取します。綿棒が舌、ほほ、歯に触れないように注意してください。

製造販売元 **株式会社ニチレイバイオサイエンス**
〒104-8402 東京都中央区築地6-19-20

【問い合わせ先】 株式会社ニチレイバイオサイエンス 事業戦略部 イムノクロマトグループ
問い合わせフォーム : <https://nichireibiosciences.co.jp/contactlist/>
問い合わせ電話番号 : 03-3248-2228
問い合わせ受付時間 : 9:00~17:00 (土日祝日を除く)
ホームページ : <https://nichireibiosciences.co.jp>

出典 : イムノファイン™ FLU II 電子添文より